

著作権についてのご注意



警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（CD、ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って、音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したCDなどの使用には一定の制限があります。

たとえば、

- 放送やレコード、CD、録音物から録音したCDを売ったり配ったりすること、あるいは、貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードやCD、録音物またはそれから録音したCDや放送から録音したCDを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）もしくは最寄りの支部におたずねください。

（社）私的録音補償金管理協会
TEL: (03) 3261-3444

録音可能なCDについて

録音可能なディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R／CD-RWです。

○ 使用いただけるディスク



✕ 使用できないディスク



- CD-Rはライトワンス（録音後の消去ができない）CDです。ファイナライズ（完成）を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。
- CD-RWはリライタブル（消去することで、また録音ができるようになる）CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。

保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	W-CDレコーダーマルチプレーヤー		
お客様	お名前	ご住所	
	電話番号 ()		
お買上げ日 年 月 日		取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買上げ日より) 本体1年 (但し消耗品は除く)			

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
 - ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
 - ⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
 - ⑥本書のご提示がない場合。
 - ⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

輸入元 株式会社とうしょう

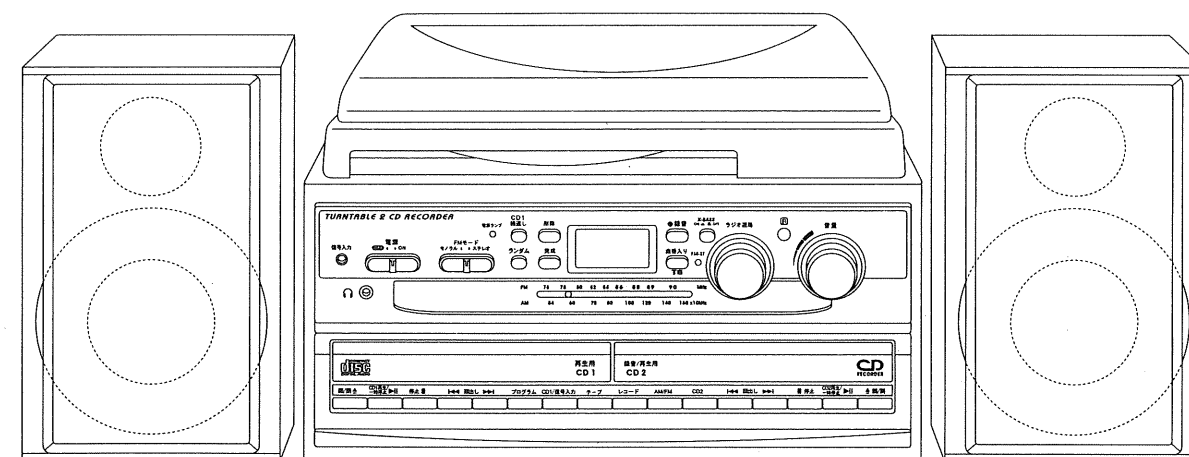
TCDR-186WC

W-CDレコーダー マルチプレーヤー

取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



目次

安全上のご注意	2	レコードからCDへの録音方法	16
各部の機能と接続方法	3	カセットテープからへの録音方法	18
リモコンの名称と機能	4	音楽プレーヤーの接続とCDへの録音	20
外部出力端子の接続	5	CD-RWの曲データの消去	21
ヘッドホンの使用方法	5	日常のお手入れ	22
レコードプレーヤーの使い方	6	レコード針の交換	22
ラジオの使い方	8	こんなときは／故障かな？と思ったら	23
カセットプレーヤーの使い方	9	著作権についてのご注意	24
CDプレーヤーの使い方	10	録音可能なCDについて	24
CDからCDへの録音方法	14	保証書	24

輸入販売元 (株)とうしょう 埼玉県八潮市大曽根87-3

(Ver3.22032012)

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
		⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



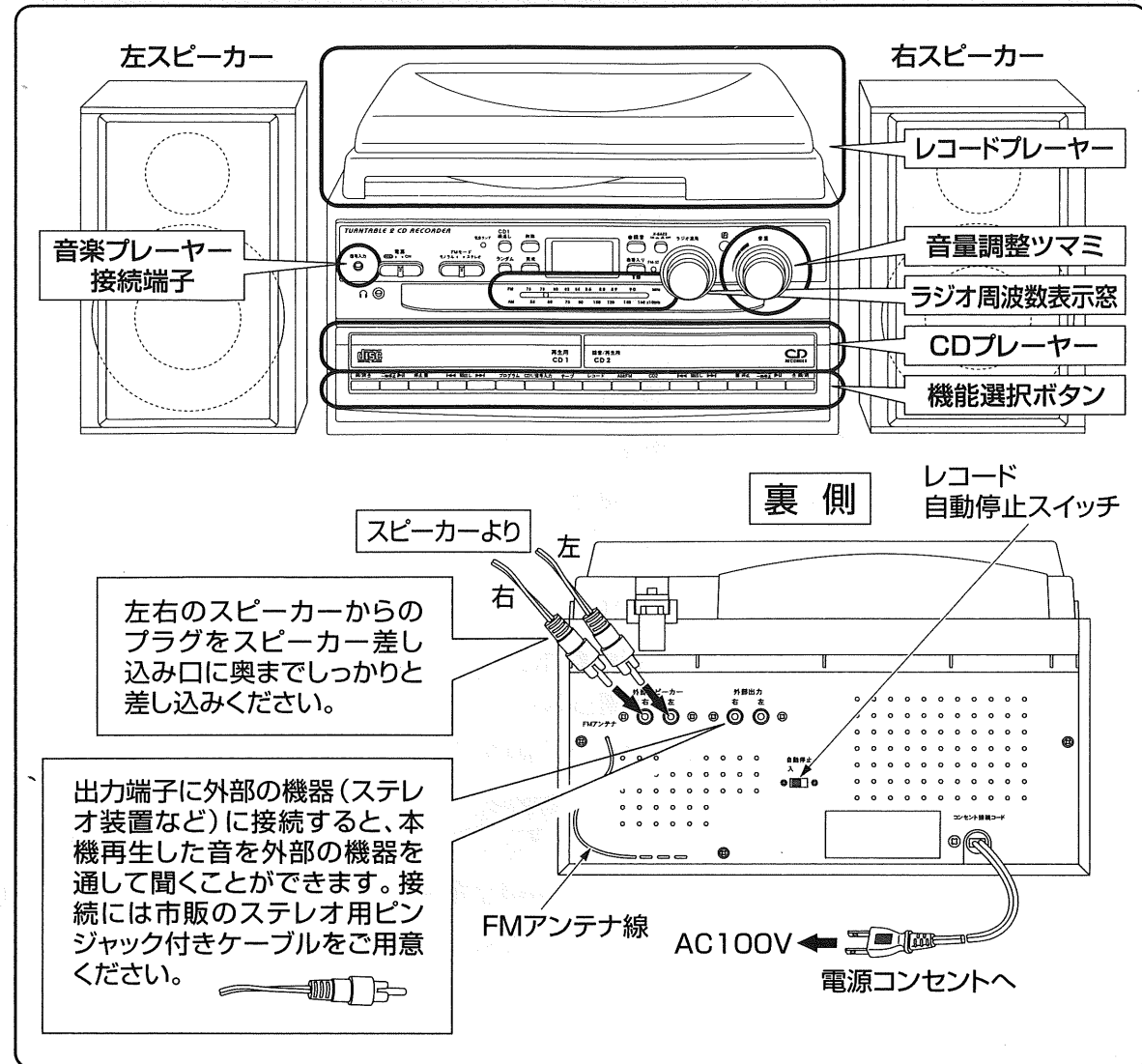
●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



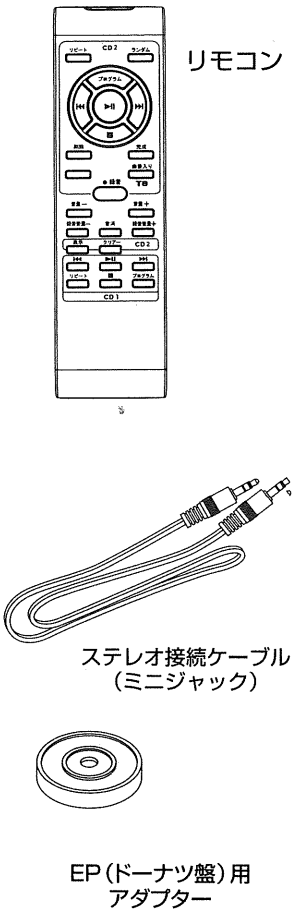
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



各部の機能と接続方法



〔付属品〕



仕様スペック

◆CDプレーヤー

特性周波数: 60Hz~16KHz(±3db)
CD方式: Audio CD/CD-R/CD-RW

◆レコードプレーヤー

モーター: DC方式
駆動方式: ベルト
回転数: 33 1/3 / 45 / 78rpm
信号雑音率: 32dB
針: サファイア

◆ラジオ

(FM): 76.0MHz~90MHz
(AM): 540KHz~1.600KHz
特性周波数: 100Hz~4k

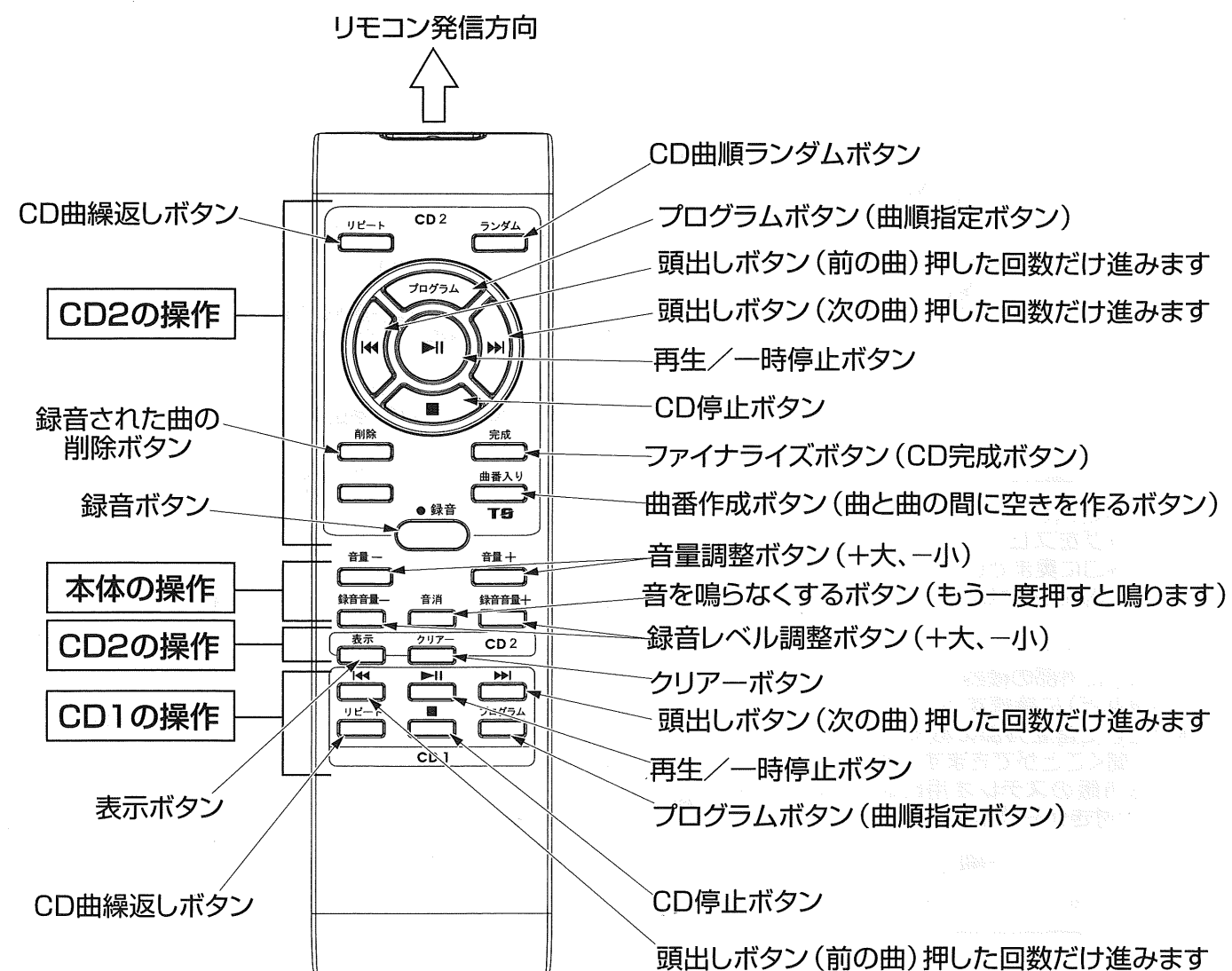
◆アンプ

消費電力: 38W
出力: 2W+2W
特性周波数: 60Hz~16KHz

◆スピーカー: 2

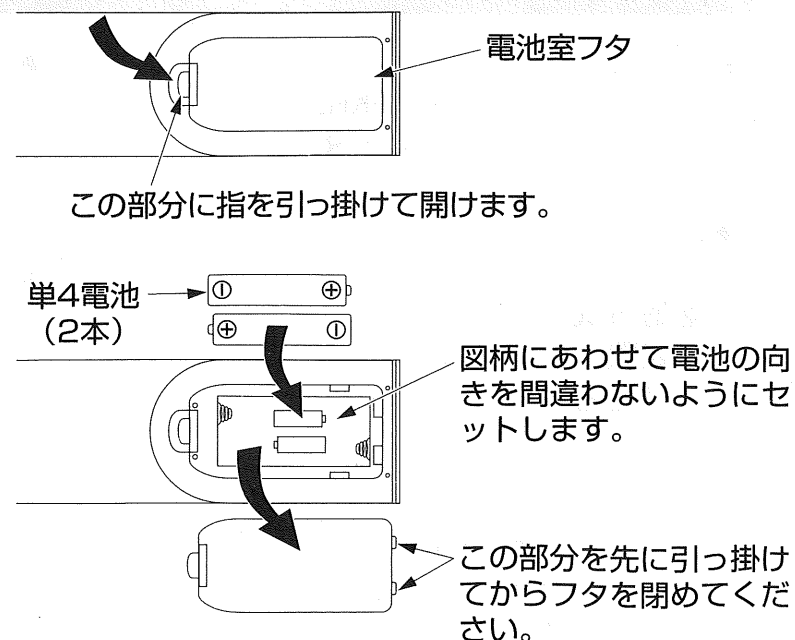
サイズ: 100mm/27mm
インピーダンス: 4Ω
出力端子: イヤホン 3.5mm
出力端子: ステレオ(L/R) RCA

リモコンの名称と機能

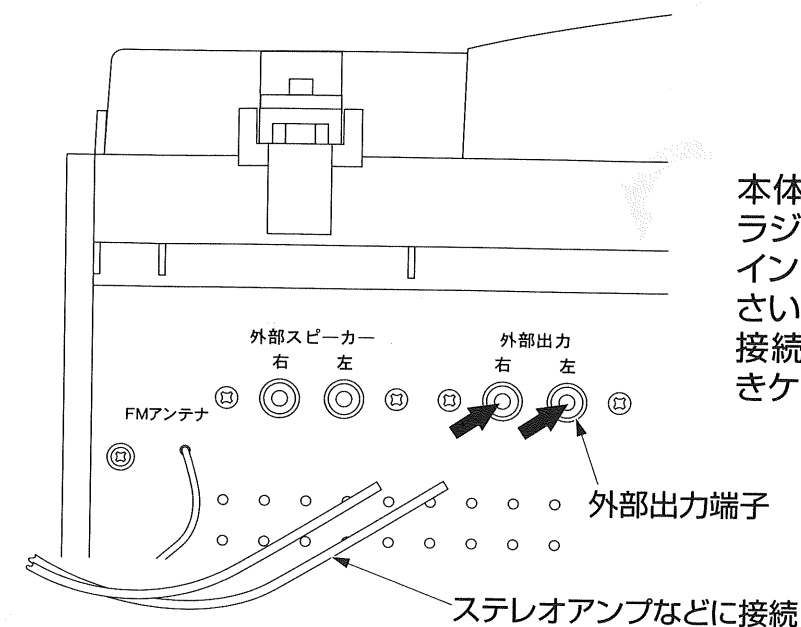


●電池の交換方法(入れかた)

- 2本の電池(単4電池)を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったなら、新しい電池に交換してください。+と-の向きを正しく入れてください。
- 使用範囲は7m以内です。
- リモコンは本体に向かって操作してください。

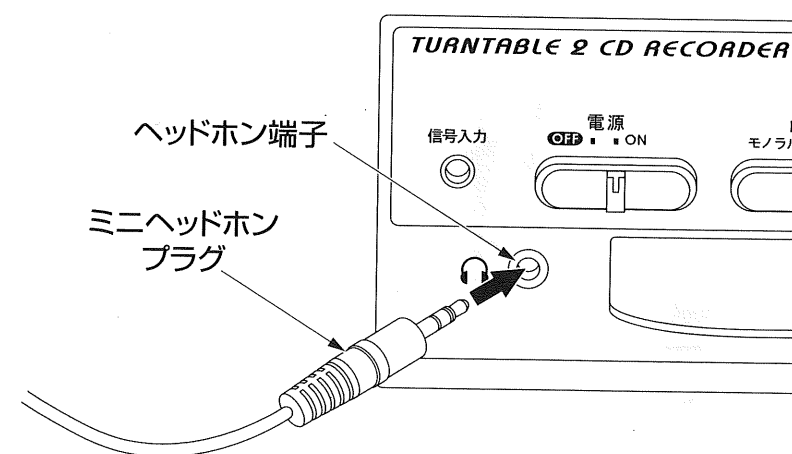


外部出力端子の接続



本体裏側にある外部出力端子を利用して、ラジカセやお手持ちのステレオアンプのラインイン(入力)端子に接続してご利用ください。
接続には市販のステレオ用ピンジャック付きケーブルをご用意ください。

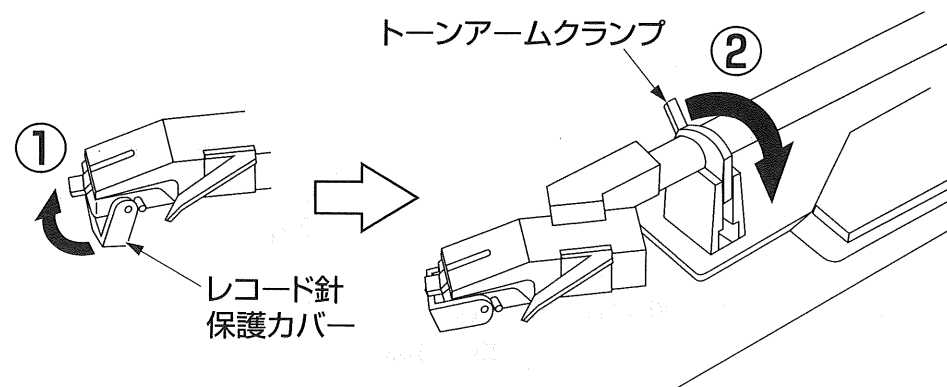
ヘッドホンの使用方法



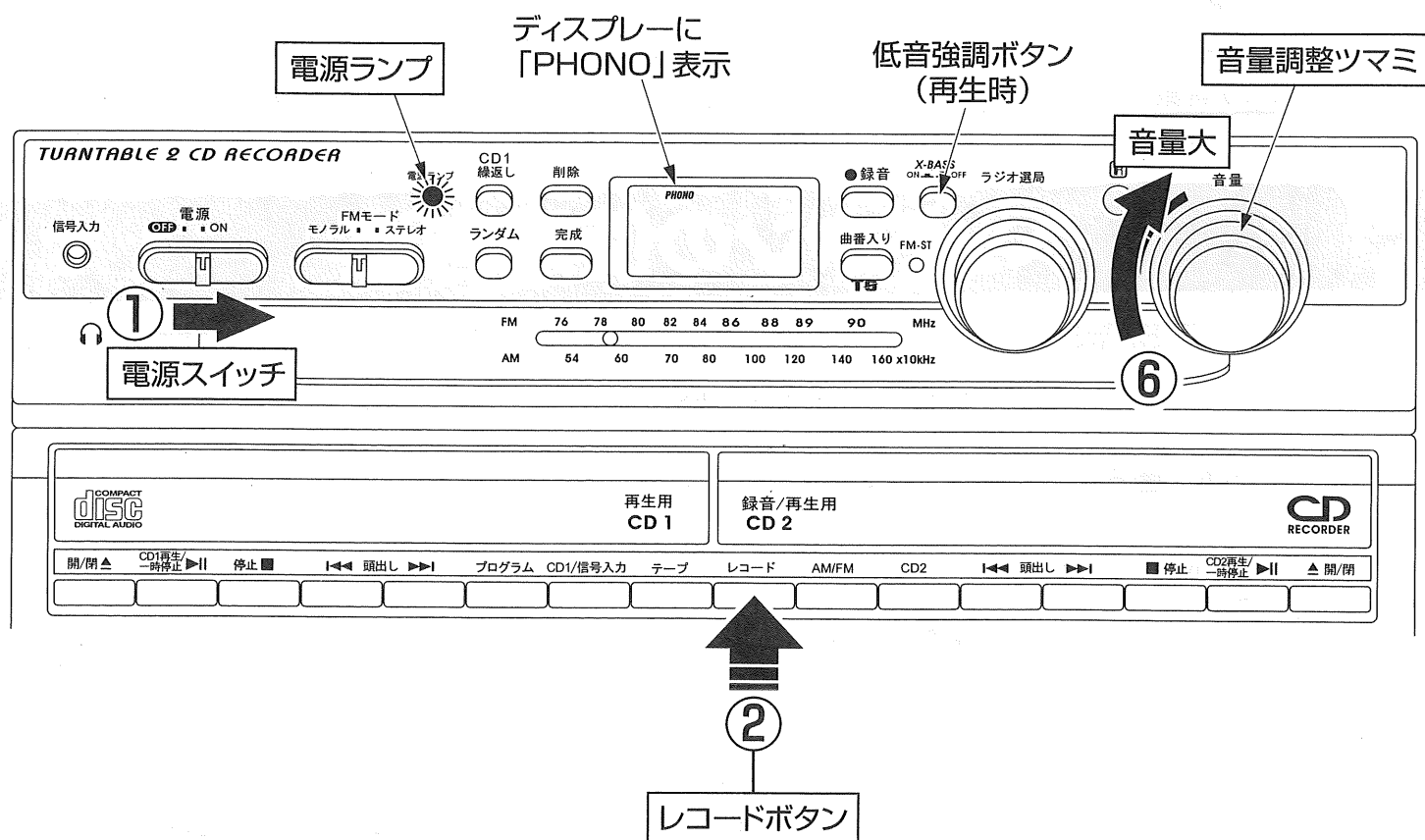
- 本機で利用できるヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ(φ3.5mm)でインピーダンス8~32Ωです。ご利用前に確認してください。
- ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の際は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームツマミで適切な大きさに調整して聞いてください。

レコードプレーヤーの使い方

●ストッパーと針保護カバーを外します。

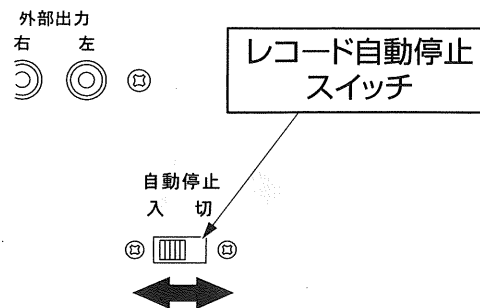


- ①レコード針保護カバーを下側から前側に起こします。
- ②トーンアームクランプを外してください。



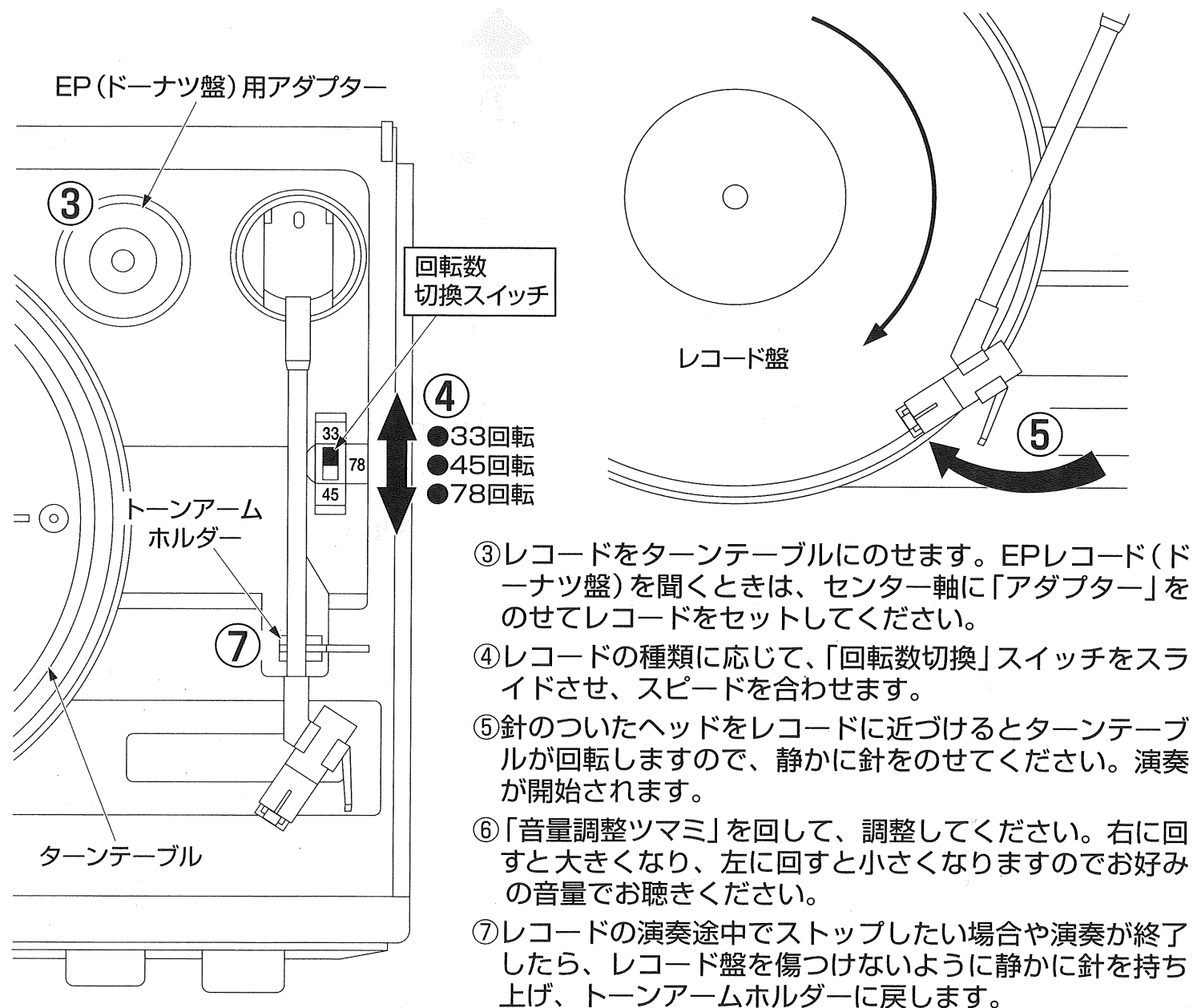
- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ②「レコード」ボタンを押して選択します。ディスプレイに「PHONO」が表示されます。

●レコード自動停止スイッチの使い方



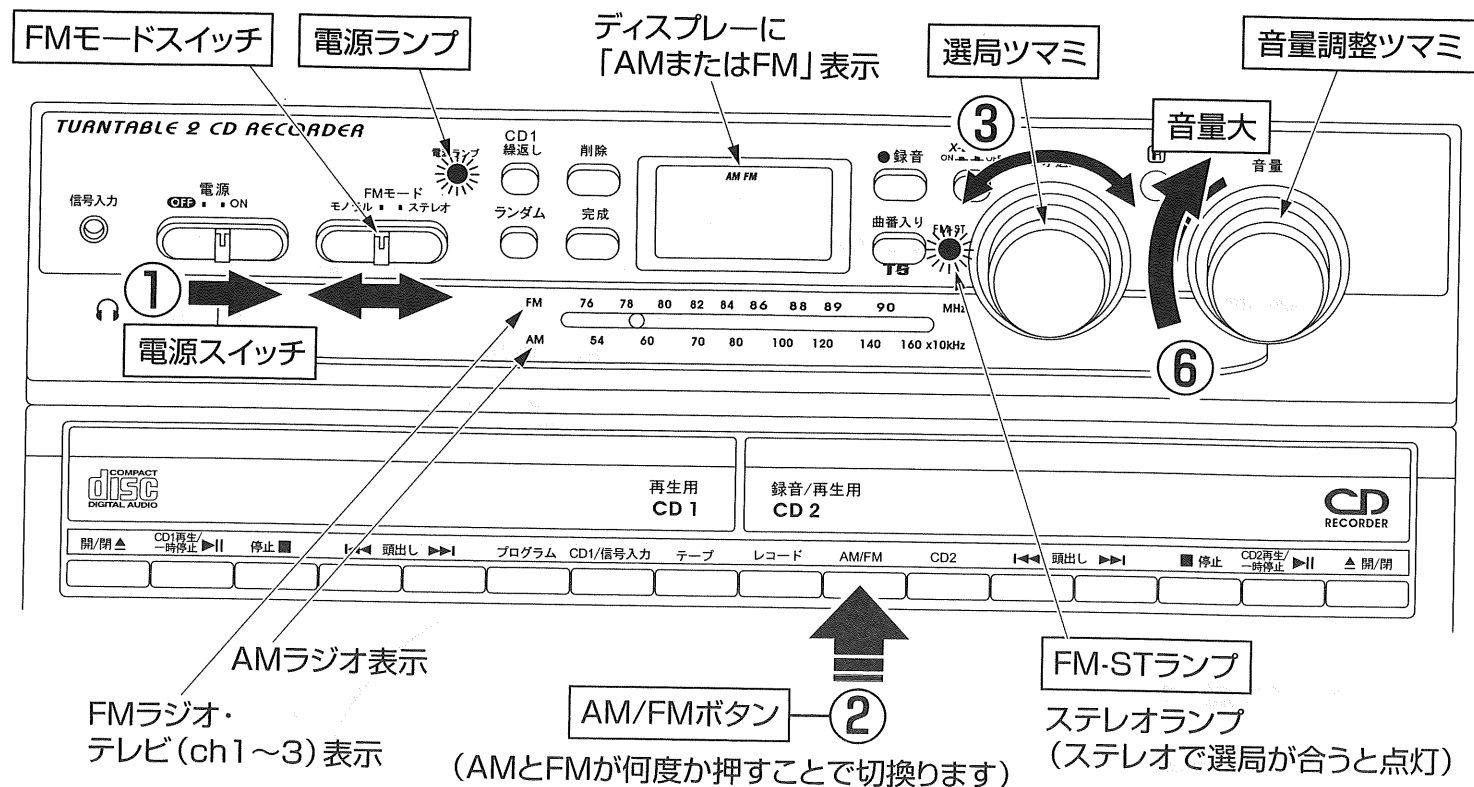
注意

通常の使用には、本体後側にあるレコード自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、レコード自動停止スイッチは「OFF」側でご使用ください。



- ③レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞かるときは、センター軸に「アダプター」をのせてレコードをセットしてください。
- ④レコードの種類に応じて、「回転数切換」スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。
- ⑤針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が開始されます。
- ⑥「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
- ⑦レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

ラジオの使い方



- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にして電源を入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ②「AM/FM」ボタン押しラジオを選択します。AMまたはFMに合わせます。(ディスプレイを見ながらボタンを何度か押し、ディスプレイでAMかFMかを確認してください。)
- ③「選局ツマミ」を回して、お聴きになりたいラジオ局(周波数)に合わせます。
- ④FMステレオ放送を聞く場合は「FMモードスイッチ」を「ステレオ」にしてください。選曲されるとFMステレオ表示ランプが点灯します。FM電波が弱く、雑音が発生した場合はモノラル側を選択すると、雑音が改善される場合があります。モノラル側ではFMステレオ表示ランプは点灯しません。
- ⑤音量調整ツマミを回し、好みの音量でお聴きください。

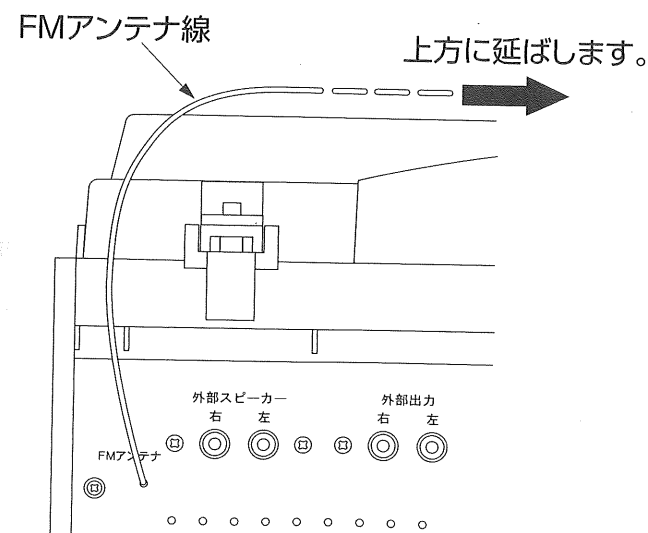
ポイント FMバンド帯でテレビの1チャンネルから3チャンネルまでを聞くことができます。

●外部FMアンテナの取付け

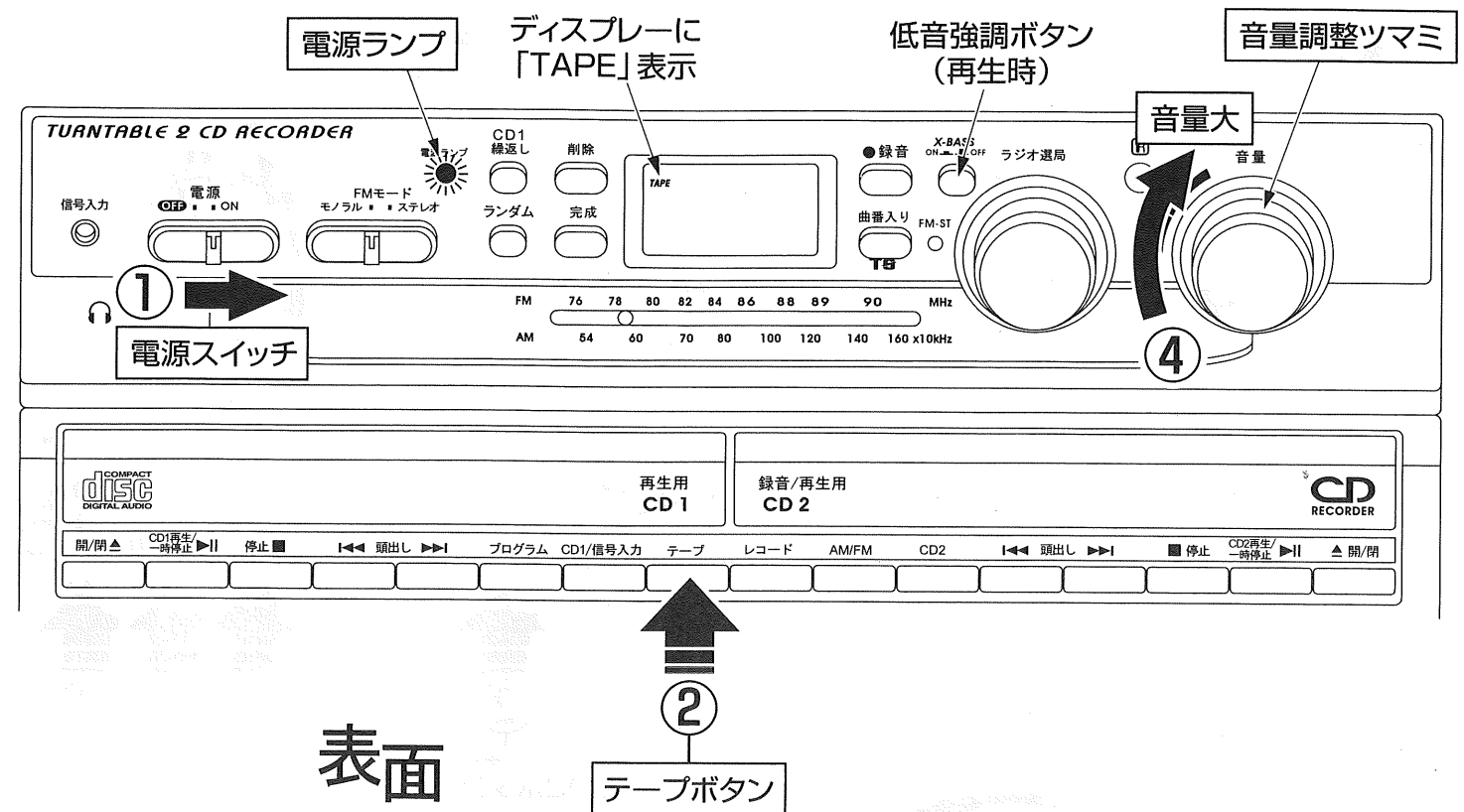
「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

●AM放送を聴く時の注意

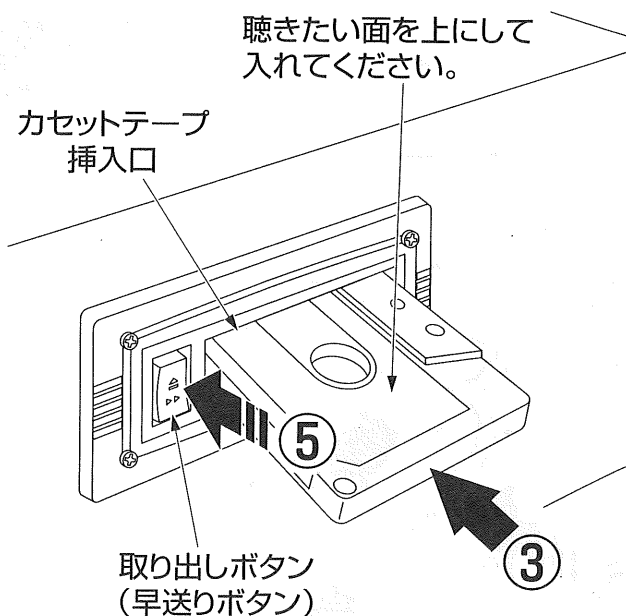
AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。



カセットプレーヤーの使い方(再生専用)



表面

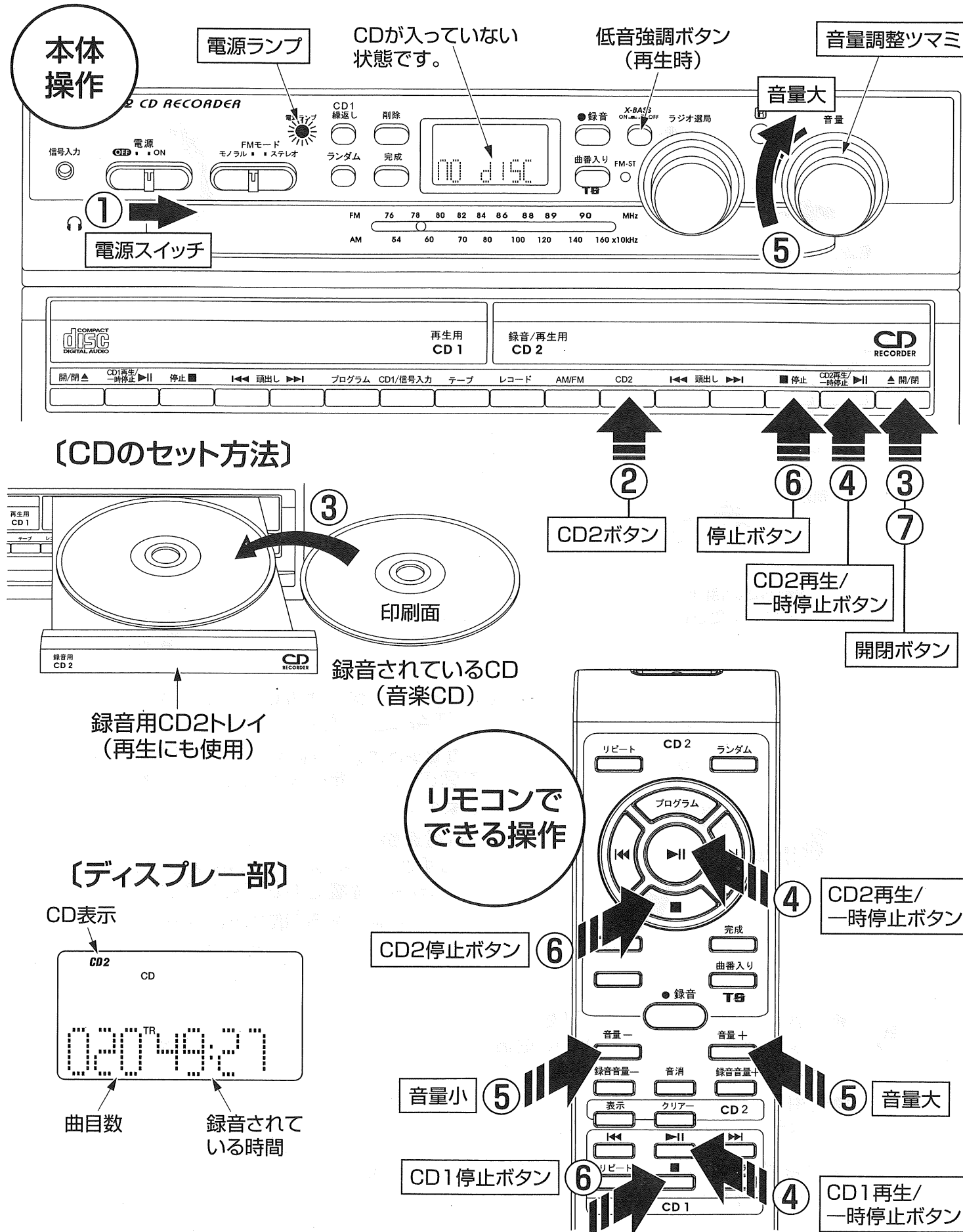


- ①前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ②「テープ」ボタンを押して選択します。ディスプレイに「TAPE」が表示されます。
- ③「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。
- ④「音量調整ツマミ」を回して、調整してください。右に回すと大きくなり 左に回すと小さくなりますので好みの音量でお聴きください。
- ⑤入口の左側にある「取り出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

注意

- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの原因になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、C-30、C-60、C-90タイプを使用してください。C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。
- 録音時の音量レベルはリモコン操作のみ可能です。レコード録音時にご使用されることをお勧めいたします。

CDプレーヤーの使い方(再生)

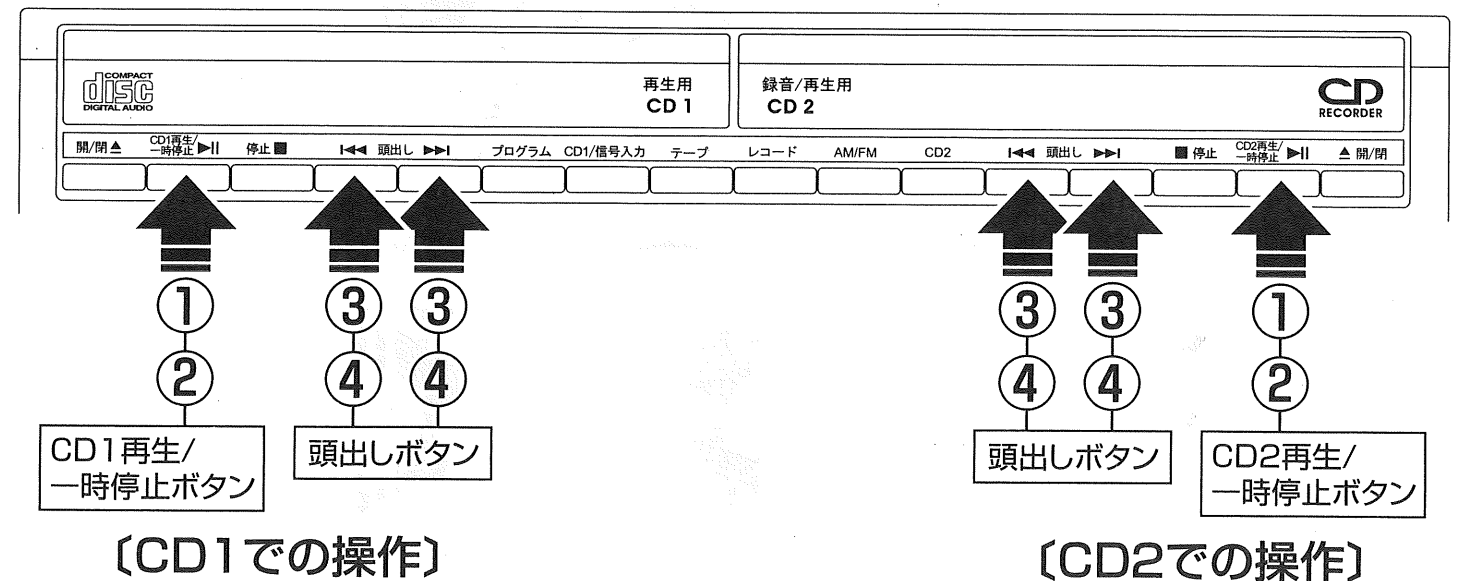


操作方法	ディスプレイ表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます		電源ランプ「赤」が点灯
② CD2ボタンを押します	NO DISC	ディスプレイに「NO DISC」表示
③ CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	<例> 020'49.27	ディスプレイに「録音時間」「曲目数」表示
④ CD2再生/一時停止ボタンを押します	<例> 03'13	ディスプレイの秒数表示スタート 1曲目から順に再生開始
⑤ 音量調整ツマミで音量を調整		お好みの音量でお聴きください
⑥ 音楽再生をやめるとき ■停止ボタンを押します		再生が終了
⑦ CD2の開/閉ボタンを押しCDを取り出します	OPEN	トレイが開きCDが出てきます

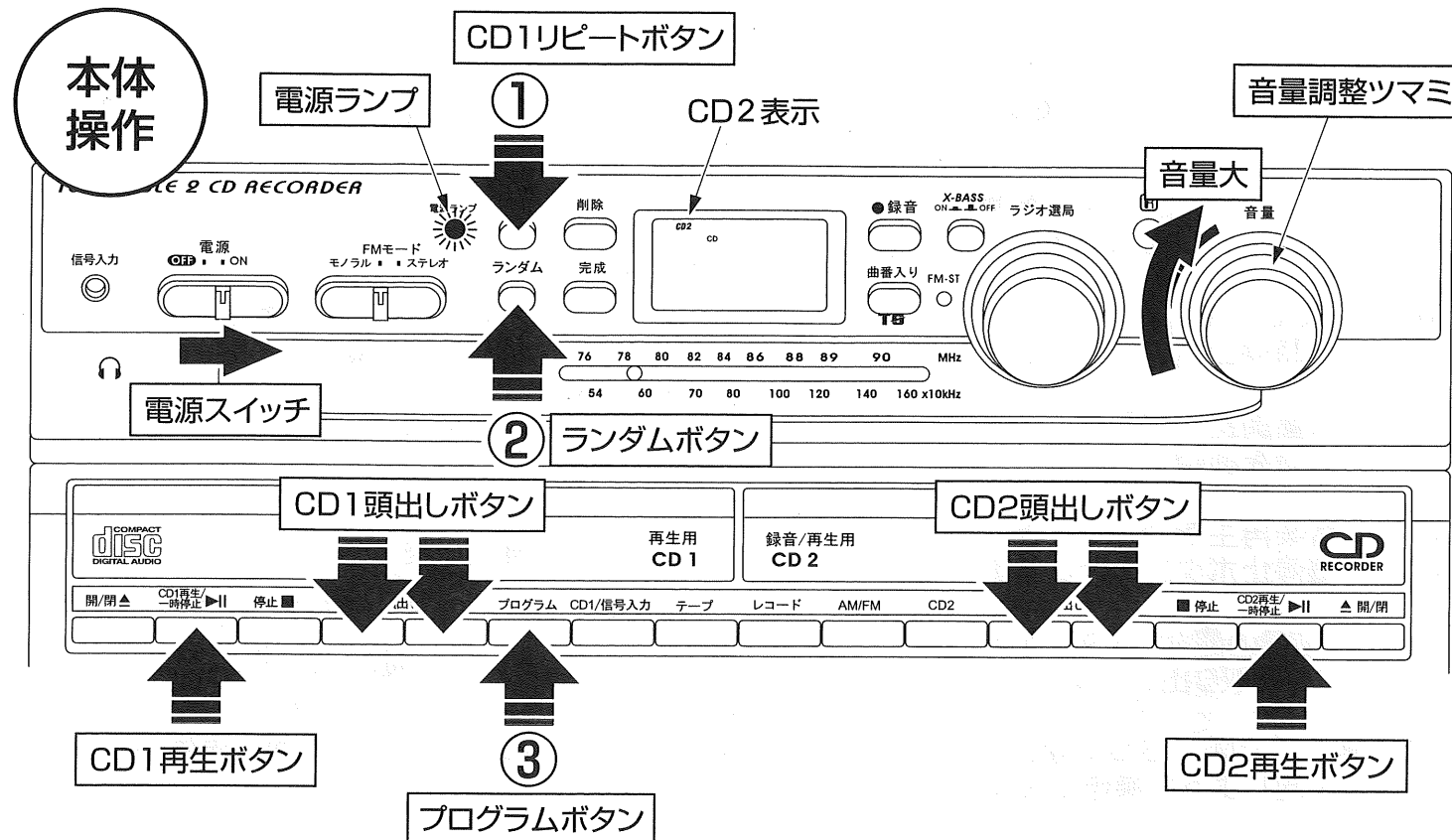
●ここでは、おもに録音用CD2でのCDの再生方法について説明しましたが、再生用CD1でも同じように操作できます。

ノーマル再生

- ①「CD2再生/一時停止」ボタンを押すと1曲目から順に再生が始まります。
- ②再生中に「CD2再生/一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。長押し(2秒以上)すると再生が完全に停止します。
- ③再生中または停止中に「頭出し」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「頭出し」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。



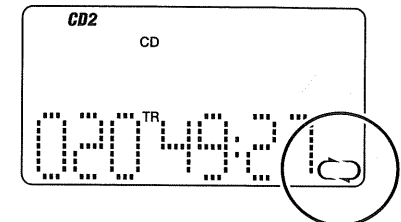
CDプレーヤーの使い方(便利な機能)



① リピート再生

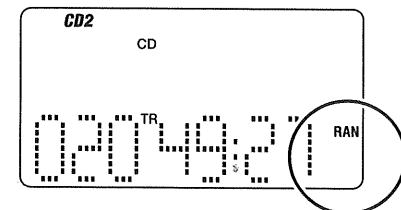
⌂……………全曲をくり返し再生します。
 ①……………1曲をくり返し再生します。

- ①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のディスプレイ表示が順番に出ます。
- ①もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
- ②「再生」ボタンを押すと右図表示の「くり返し」再生が始まります。



② ランダム再生

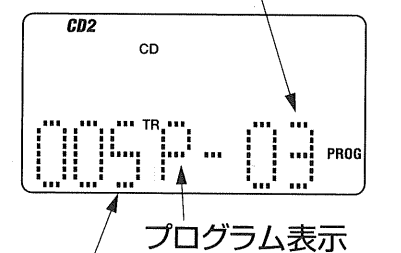
- ①「ランダム」ボタンを押すと右図の丸内がディスプレイに表示されます。
- ②「RAN」の表示で「再生」ボタンを押すと全曲の順番が入れ替わって再生されます。
- ③「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。
- ④「停止」ボタンを押すとランダム再生が解除されます。



③ プログラム演奏

- ①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。
- ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレイに「PROG」表示が出ます。
- ③「頭出し」ボタンを押して曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。
- ④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
- ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「PROG」表示を消してください。

CDに録音されている曲順番号
 (これは3曲目表示)



プログラム表示
 プログラムする曲順番号
 (これは5曲目表示)

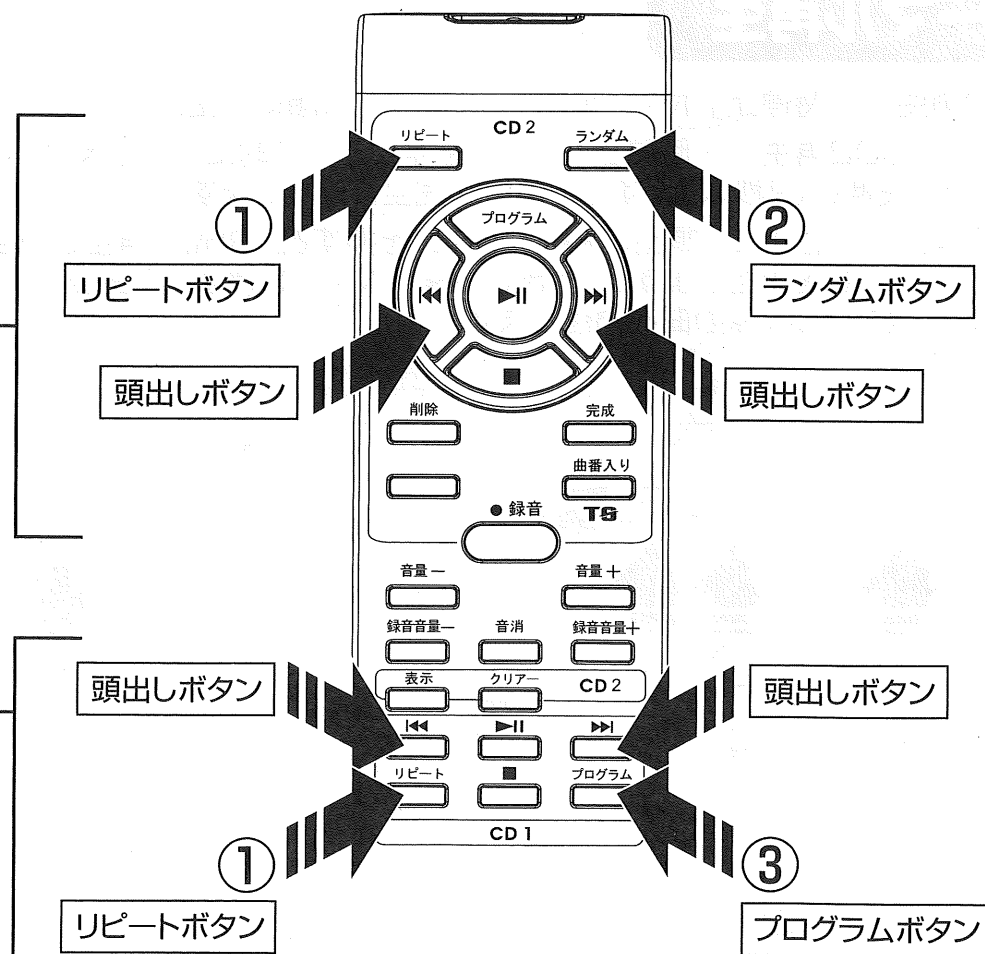
ポイント

再生用CD1での再生は、ディスプレイ表示がCD2の再生と異なりますが機能的には同じですので、CD2の操作を参考にしてお操作してください。

リモコンでできる操作

CD2の操作

CD1の操作

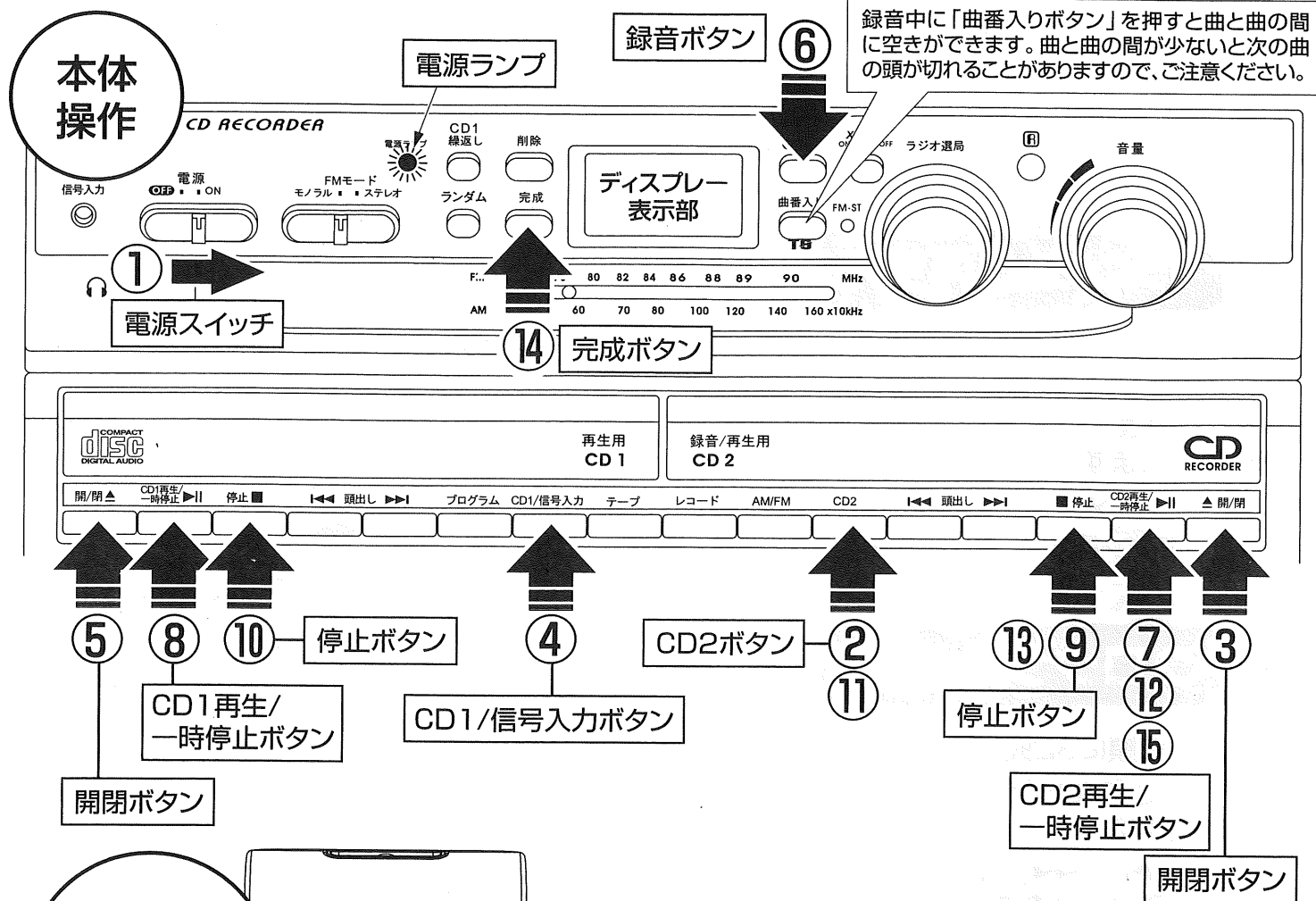


録音用のCD-R/CD-RWについて

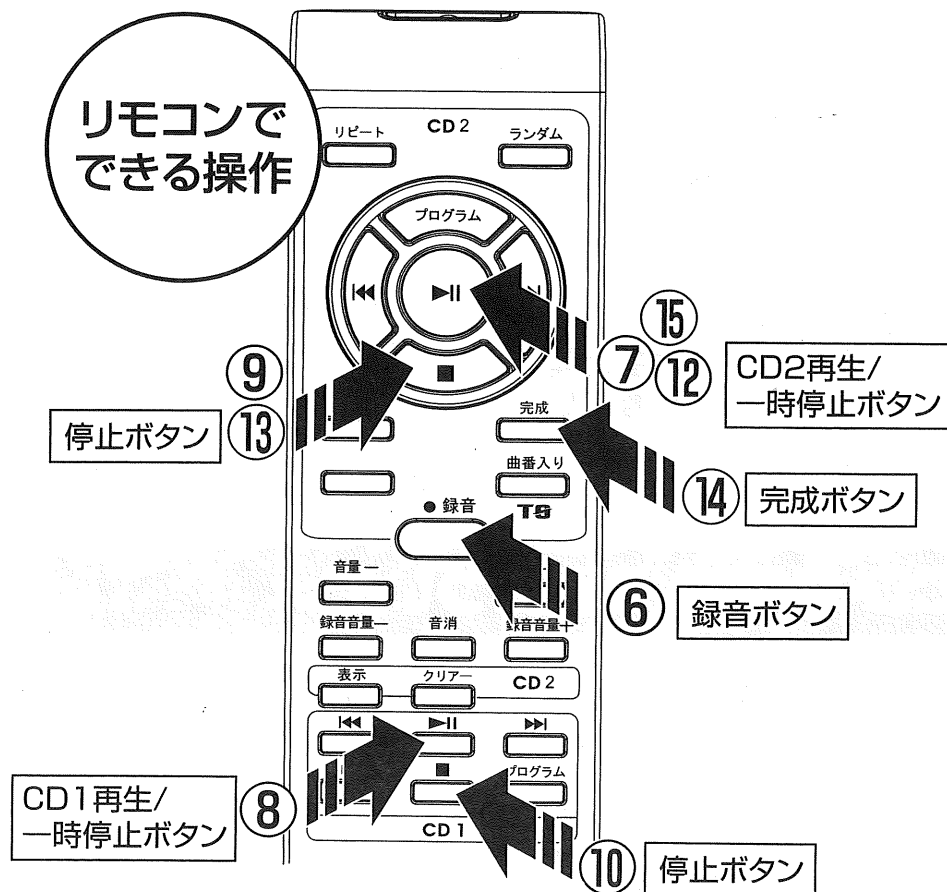
⚠ 注意 録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデータは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。
 CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ・レコードからの(アナログ製品)録音の場合CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。

CDからCDへの録音方法

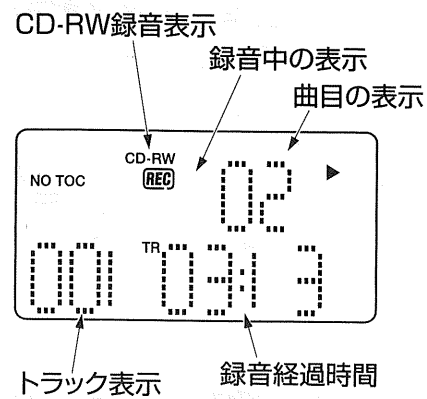
本体操作



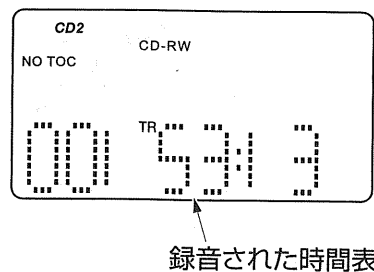
リモコンでできる操作



〔録音中の画面〕



〔録音完了画面〕



操作方法

ディスプレイ表示

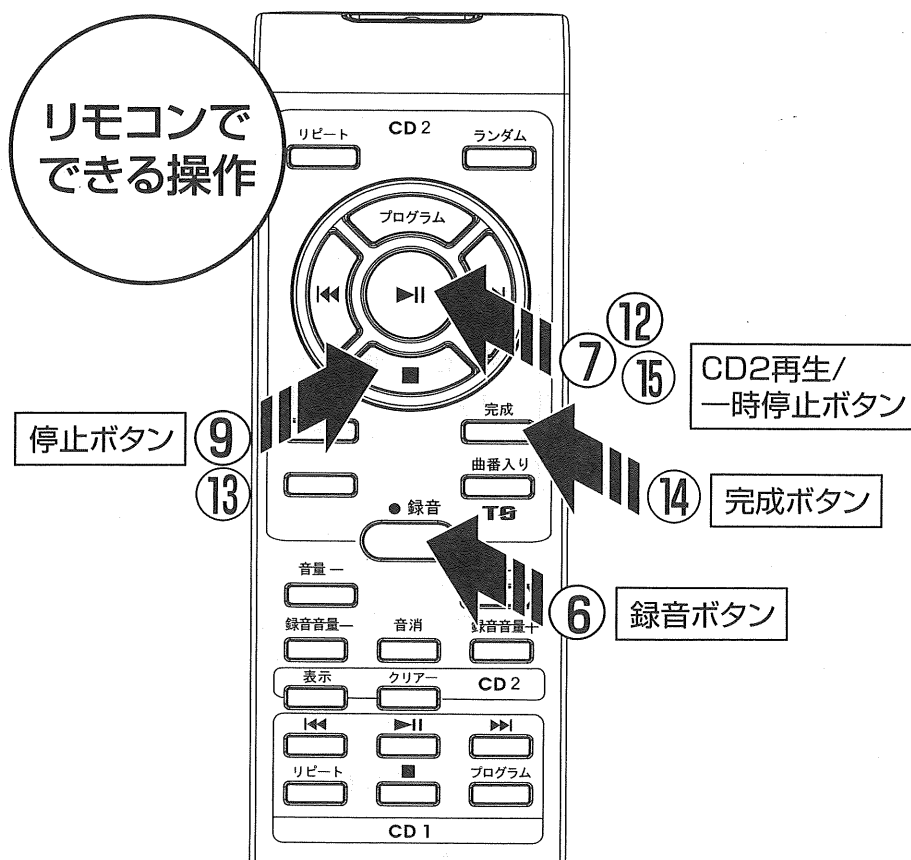
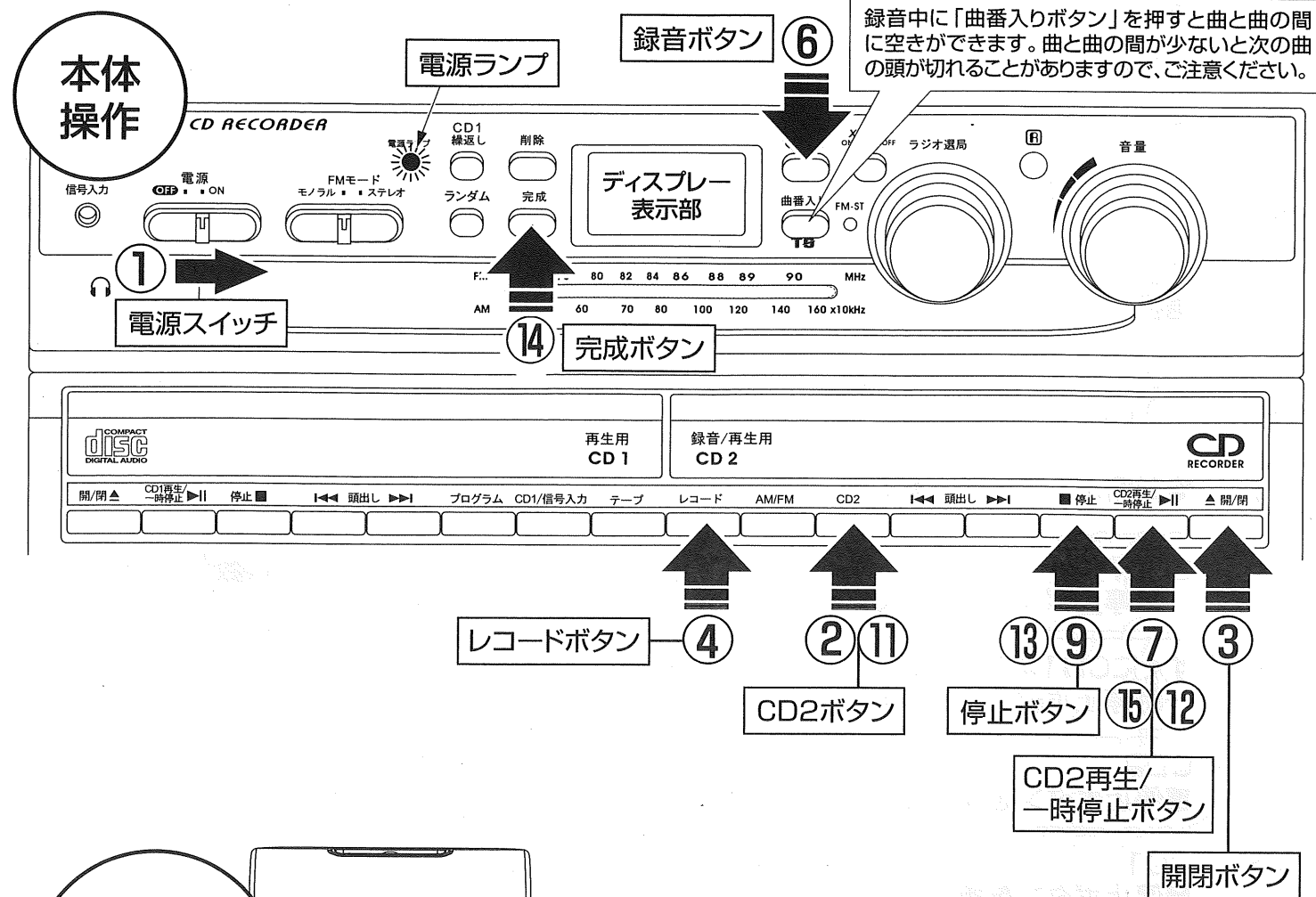
詳細説明

1	電源スイッチをONにして電源を入れます		電源ランプ「赤」が点灯
2	CD2ボタンを押し選択します	... BU 54	
3	CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	CD2 NO TOC CD-RW 000 00:00	ディスプレイに「CD2」表示 NO TOCの表示 録音可能なCDの意味
4	CD1/信号入力ボタンを押し選択します	CD1/AUX CD-RW NO TOC	ディスプレイに「CD1/AUX」表示
5	CD1の開/閉ボタンを押しCD1にCDを入れます	CD1/AUX CD-RW NO TOC 23	ディスプレイに曲数表示
6	●録音ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 01	ディスプレイに「REC」 ディスプレイに秒数「00」表示
7	CD2再生/一時停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 01 03:3	ディスプレイの秒数スタート 録音開始
8	すぐにCD1再生/一時停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW REC 01 03:3	スピーカーより 録音中の音が流れます
9	CD2 ■停止ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW NO TOC 01	録音終了 CDが停止します
10	CD1 ■停止ボタンを押します	CD1/AUX CD-RW NO TOC 03	曲数が表示
11	CD2ボタンを押し選択します	CD2 NO TOC CD-RW 001 03:3	録音された時間が表示 まだ完全には録音されていません
12	CD2再生/一時停止ボタンを押します	CD2 NO TOC CD-RW 001 03:3	仮録音された曲を再生できるか テストしてください
13	CD2 ■停止ボタンを押します	CD2 NO TOC CD-RW 003 00:00	再生を確認できましたら下記の ファイナライズ処理を行います
14	完成ボタンを押します	FIN-d	ディスプレイに「FIN-d」表示
15	CD2再生/一時停止ボタンを押します	... BU 54	ファイナライズ(完成)作業中 2~3分かかります
16	自動的にトレイが開きます	OPEN	CD完成です

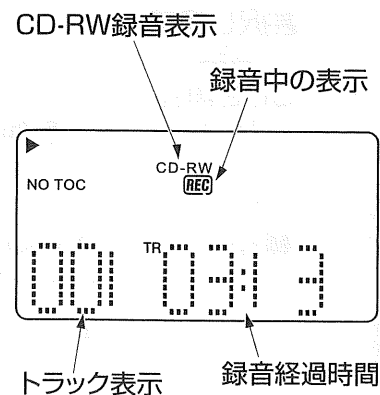
△注意

録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。CD-Rに録音したデータを消すことはできません。CD-RWは追加録音や消したりすることができます。
CD-R/ CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ・レコードからの(アナログ製品)録音の場合にはCDメディア(記録ソフト)の特性になどにより録音・再生できないことがあります。

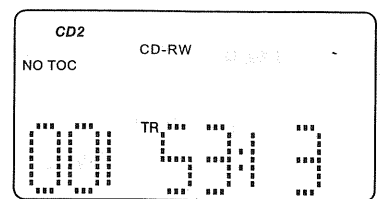
レコードからCDへの録音方法



【録音中の画面】



【録音完了画面】



操作方法

ディスプレイ表示

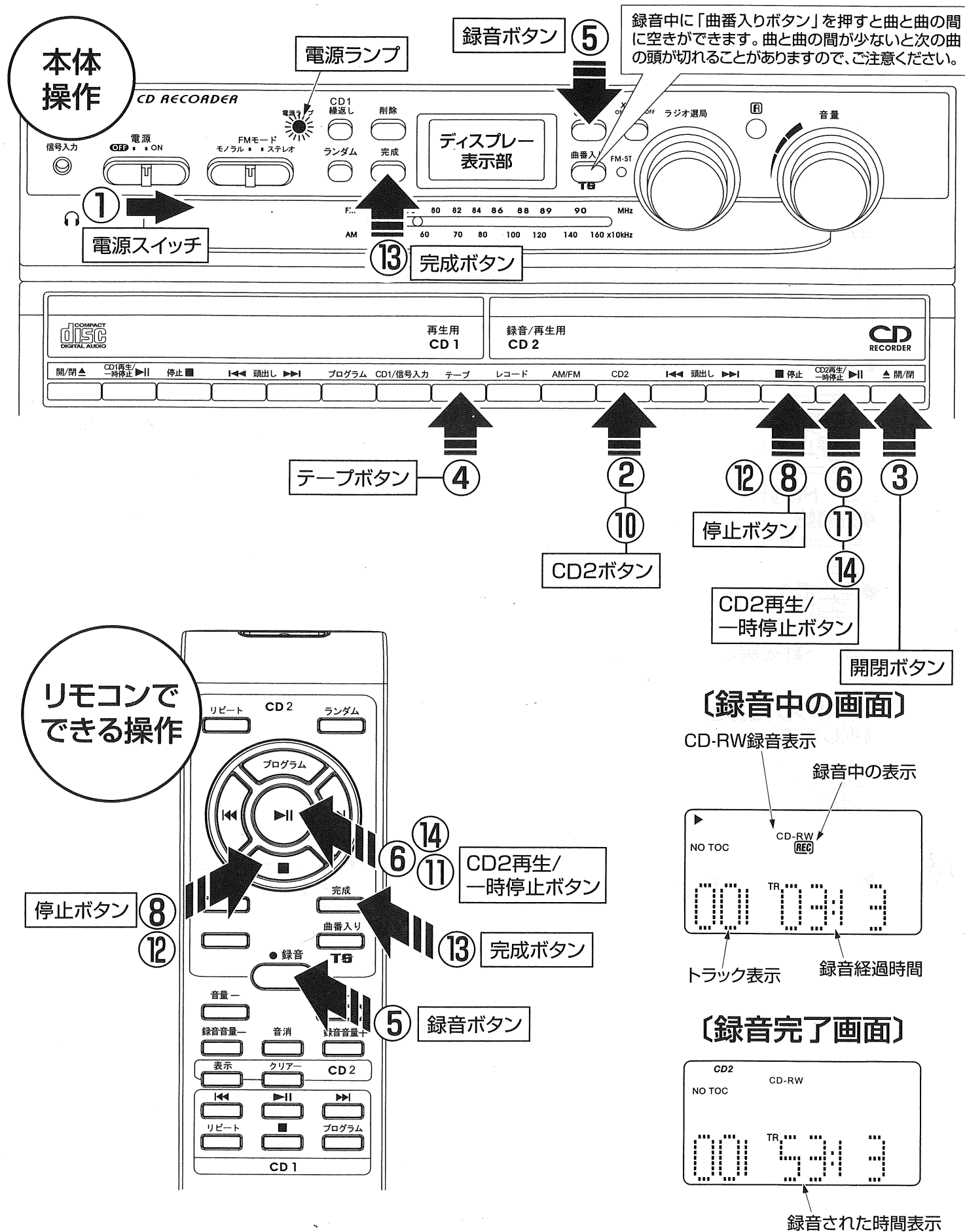
詳細説明

1	電源スイッチをONにして電源を入れます		電源ランプ「赤」が点灯
2	CD2ボタンを押し選択します	--- BUSY	
3	CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	CD2 NO TOC CD-RW 00:00:00	ディスプレイにCD-R/RW表示 NO TOC 録音可能CDを意味します
4	レコードボタンを押し選択します	PHONO NO TOC CD-RW	ディスプレイに「PHONO」表示
5	ターンテーブルにレコードをのせてください	PHONO NO TOC CD-RW	LP盤使用時は裏面スイッチを「入」にしてください（自動停止機能）
6	●録音ボタンを押します	II NO TOC CD-RW REC 00	ディスプレイに「REC」 ディスプレイに秒数「00」表示
7	CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ NO TOC CD-RW REC 00:03:3	ディスプレイの秒数表示スタート 録音開始
8	レコードに針をのせます 再生開始		スピーカーより 録音中の音が流れます
9	CD2 ■停止ボタンを押します	PHONO NO TOC CD-RW	録音終了 CDが停止します 曲数が表示
10	レコード針を戻します		レコード「針」には十分気をつけて ください
11	CD2ボタンを押し 選択します	NO TOC CD-RW 00:03:3	録音された時間が表示 まだ完全には録音されていません
12	CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ NO TOC CD-RW 00:03:3	仮録音された曲を再生できるか テストしてください
13	CD2 ■停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 00:00:00	再生を確認できましたら下記の ファイナライズ処理を行います
14	完成ボタンを押します	FIN-d	ディスプレイに「FIN-d」表示
15	CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- BUSY	ファイナライズ（完成）作業中 2～3分かかります
16	自動的にトレイが開きます	OPEN	CD完成です

△ 注意

録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。CD-Rに録音したデータを消すことはできません。CD-RWは追加録音や消したりすることができます。
CD-R/ CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ・レコードからの（アナログ製品）録音の場合にはCDメディア（記録ソフト）の特性により録音・再生できないことがあります。

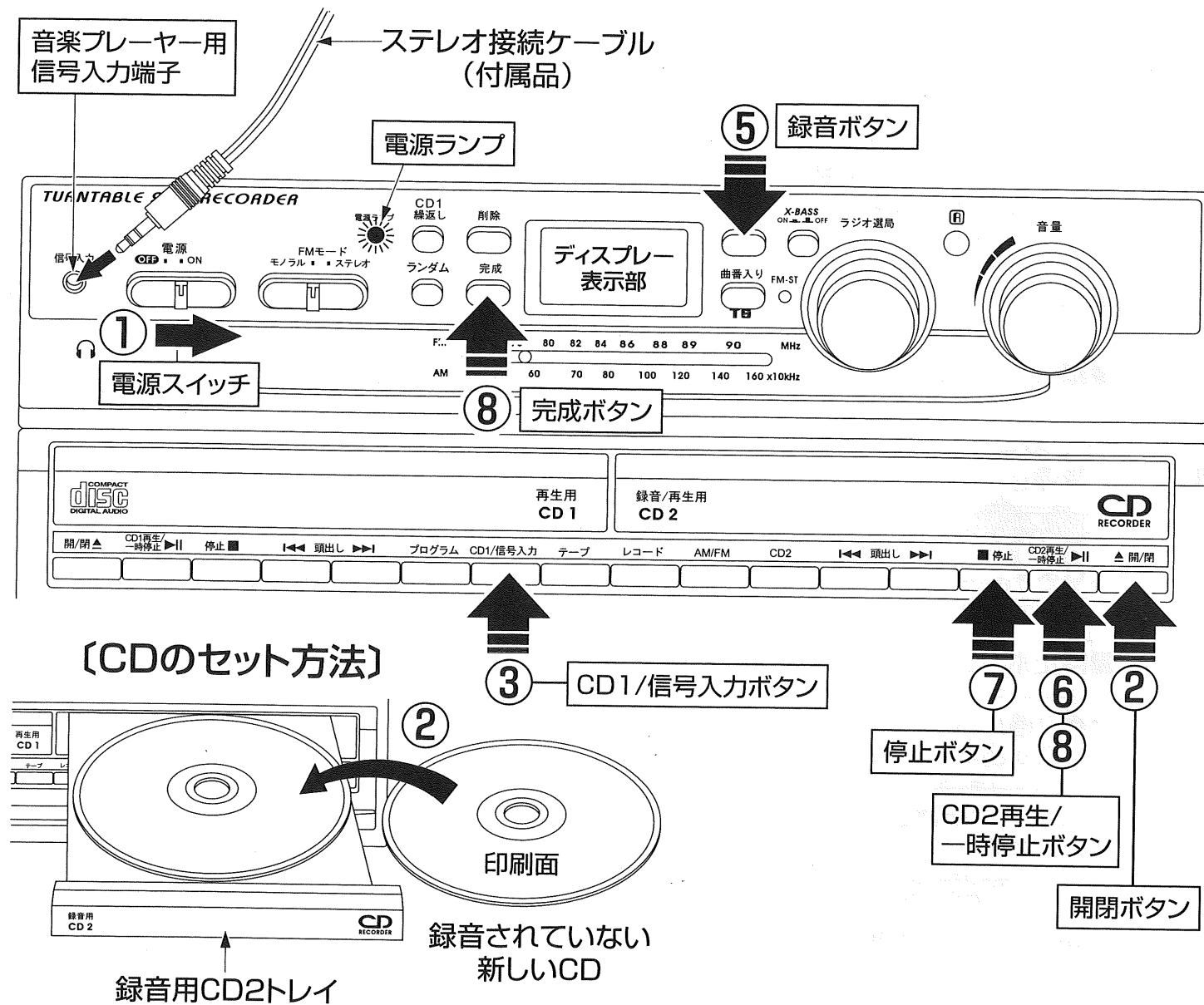
カセットテープからCDへの録音方法



操作方法	ディスプレイ表示	詳細説明
① 電源スイッチをONにして電源を入れます		電源ランプ「赤」が点灯
② CD2ボタンを押して選択します	--- 60 54	
③ CD2の開/閉ボタンを押してCD2にCDを入れます	CD2 NO TOC CD-RW 000 00:00	ディスプレイに「CD」表示
④ テープボタンを押して選択します	TAPE NO TOC CD-RW	ディスプレイに「TAPE」表示
⑤ ●録音ボタンを押します	II NO TOC CD-RW 00	ディスプレイに「REC」 ディスプレイに秒数「00」表示
⑥ CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ NO TOC CD-RW 00 03:3	ディスプレイの秒数表示スタート 録音開始
⑦ テープ挿入口にテープを入れます 自動再生	▶ NO TOC CD-RW 00 03:3	スピーカーより 録音中の音が流れます
⑧ CD2 ■停止ボタンを押します	TAPE NO TOC CD-RW	録音終了 CDが停止します
⑨ テープ停止ボタンを押します テープが出てきます		
⑩ CD2ボタンを押して選択します	NO TOC CD-RW 003 03:3	録音された時間が表示 まだ完全には録音されていません
⑪ CD2再生/一時停止ボタンを押します	▶ NO TOC CD-RW 00 03:3	仮録音された曲を再生できるか テストしてください
⑫ CD2 ■停止ボタンを押します	NO TOC CD-RW 003 00:00	再生を確認できましたら下記の ファイナライズ処理を行います
⑬ 完成ボタンを押します	F I N - d	ディスプレイに「FIN-d」表示
⑭ CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- 60 54	ファイナライズ(完成)作業中 2~3分かかります
⑮ 自動的にトレイが開きます	O P E N	CD完成です

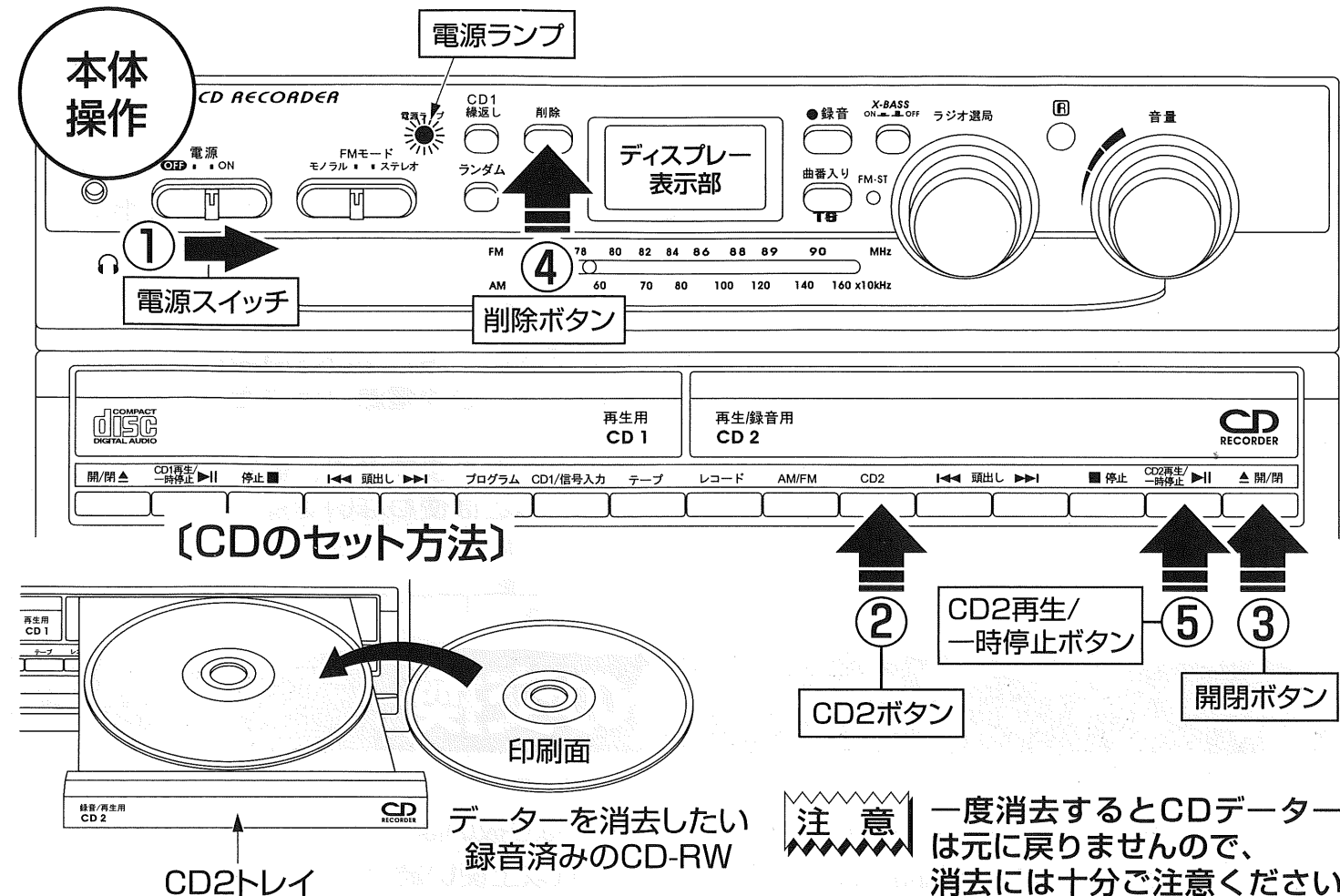
△ 注意 録音に使用できるディスクは、音楽用CD-RとCD-RWです。CD-Rに録音したデータを消すことはできません。CD-RWは追加録音や消したりすることができます。
CD-R/ CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ・レコードからの(アナログ製品)録音の場合にはCDメディア(記録ソフト)の特性により録音・再生できないことがあります。

音楽プレーヤーの接続とCDへの録音



- ① 前面パネルの「電源」スイッチをON側にスライドさせ電源スイッチを入れます。電源ランプ「赤」が点灯します。
- ② CD2の「開／閉ボタン」を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にして録音されていない新しいCDをセットし、「開／閉ボタン」を押してトレイを閉めます。
- ③ 「CD1信号入力ボタン」を押して選択します。
- ④ 音楽プレーヤーのヘッドホン端子に付属のステレオ接続ケーブルを差し込み、もう一方を本体の前面パネルにある信号入力端子に差し込みます。
- ⑤ 「録音ボタン」を押します。
- ⑥ 次に「CD2再生／一時停止ボタン」を押し、音楽プレーヤーの音楽を再生すると録音が始まり、スピーカーから録音中の音が流れます。
- ⑦ 録音が終わりましたら、CD2の「停止」ボタンを押してください。ディスプレイに録音された時間が表示されます。
- ⑧ これではまだ録音ができていないので、「完成ボタン」を押し、続いて「CD2再生／一時停止ボタン」を押します。約2～3分ほどで録音が完成され、CD2のトレイが自動で開きます。

CD-RWの曲データの消去



操作 方法	ディスプレー表示	詳細 説明
1 電源スイッチをONにして電源を入れます		電源ランプ「赤」が点灯
2 CD2ボタンを押し選択します	NO DISC	ディスプレイに「NO DISC」表示
3 CD2の開/閉ボタンを押しCD2にCDを入れます	CD2 CD-RW	ディスプレイに「CD-RW」表示
4 削除ボタンを押します	EP 01	左の画面は1曲だけ削除ですもう一度押すと次の画面になります
	EP ALL	左の画面はすべてのデータの削除になります
5 CD2再生/一時停止ボタンを押します	--- 60.54	消去が開始されます
6 消去完了	00:00:00	2～3分かかり消去が完了します画面に「00:00」が表示されます

日常のお手入れ

⚠ 注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。

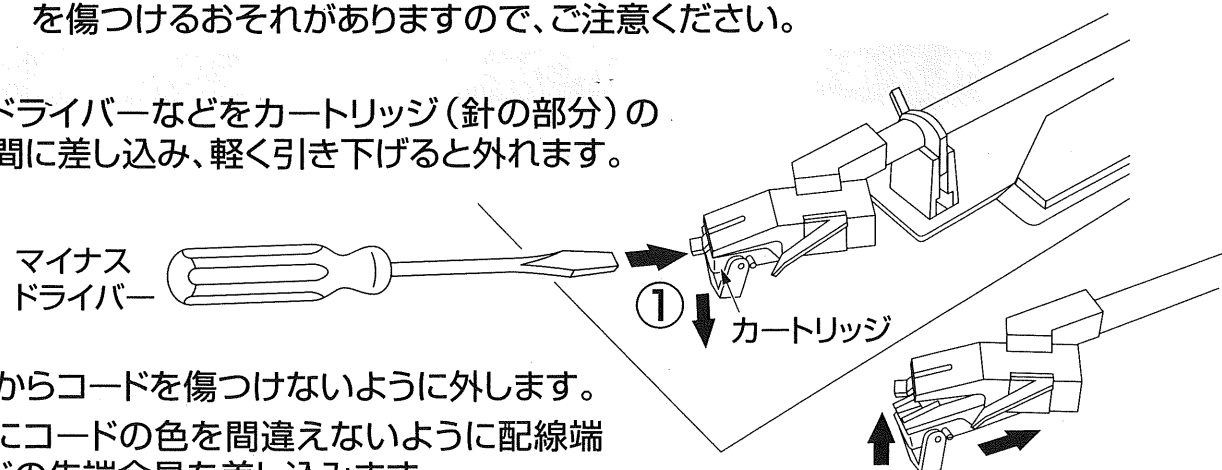
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換

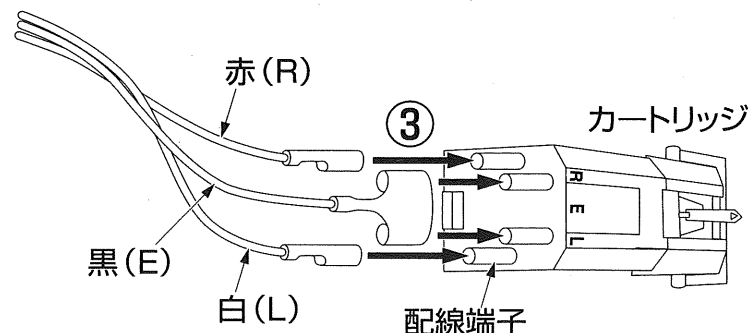
注意

- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いには十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約100時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

- ① マイナスドライバーなどをカートリッジ（針の部分）の上のすき間に差し込み、軽く引き下げると外れます。



- ② 配線端子からコードを傷つけないように外します。
- ③ 図のようにコードの色を間違えないように配線端子にコードの先端金具を差し込みます。



カートリッジの後ろ部分の突起を差し込み、前の部分を押し込むとカチッとはまります。

こんなときは／故障かな？と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか？ ●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか？ ●リモコンの音消ボタンが押されていませんか？
リモコン	リモコンが使えない	●本体の電源はONになっていますか？ ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか？ ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか？（約7m以内） ●リモコンの電池は正しい向きに入っていますか？ ●リモコンの電池が消耗していませんか？
CDレコーダー	再生できない 音が出ない	●CDボタンを押して選択しましたか？ ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか？ ●CDの再生面が汚れていませんか？やわらかい布でふいてください。 ●ファイナイズ（完成処理）しましたか？していないとCD1または他のCDプレーヤーで再生できません。
	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RW使用していますか？ ●録音されてない空のCDディスクですか？ - 液晶表示にNOTOC（書き込み可能CDを意味します） ①CDに容量は残っていますか？ - 液晶にFULL表示がでましたら録音はできません。 ②CD盤表示 640MB・約74分／700MB・約80分の録音が可能 ※ファイナイズ処理の為 約5分程度の処理容量が必要です 640MB約70分／700MB約75分の録音が可能です。 ③一度ファイナイズ処理をすると追加録音ができせん - 追加録音は必ずファイナイズ解除してから行ってください。 ④お好みのCD盤に「CCCD」コピーコントロール表示がある場合 - 録音できない恐れがあります。
レコードプレーヤー	ターンテーブルが回らない 音が出ない	●レコードボタンを押して選択しましたか？ ●針の保護カバーカバーを前方上方向に上げてありますか？ - 確認してください。
カセットテープ	テープが入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか？ ●テープボタンを押して選択しましたか？ ●テープを挿入するとき、上下 左右正しい向きになっていますか？
ラジオ	音が出ない	●AM／FMボタンを押してラジオを選択しましたか？ - 何度かボタンを押してディスプレイでお聴きになりたい放送局がAMかFMかを確認してください。 ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか？
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。（FM受信時） ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。（AM受信時）

簡単録音操作マニュアル!

① 一枚のCDからお好みの曲を選曲して自動録音する方法

1. プログラムボタン 00⇒(点滅している間に)▶▶I で選曲⇒プログラムボタン
2. ▶▶I で選曲⇒プログラムボタン⇒(点滅している間に)録音ボタンを押す。
3. **REC** マーク表示⇒CD2再生(1回押す)⇒CD1再生(1回押す)
※選曲数を選曲⇒プログラムボタンを繰り返す。
※点滅秒数は約5秒間です。【曲間は入りませんのでご注意ください】

② いくつかのCDからお好みの曲だけを選曲して録音する方法

1. CD2 CD・CD2にCD-RW ※何度も削除・追加録音可能なCDディスク
2. CD1 頭出しにてCD曲番選択 番号を選び⇒(点滅している間に)録音ボタンを押す **REC**
3. CD1 CD1再生/一時停止ボタンを2回連続で押す。(一時停止の状態)
4. CD2 CD2再生/一時停止ボタンを1回押す。(録音開始の状態)
5. 液晶に00:00のTIME表示が出たらCD1再生/一時停止ボタンを1回押す。(録音開始)
<選曲した曲が終わったら>
6. CD2 CD2再生/一時停止ボタンを1回押す。(一時停止の状態)
7. CD1 停止ボタンを1回押す。
8. CD1 開/閉ボタンを1回押しCDを取り出す。
9. 2~8をくり返し行う。

③ CD盤(一枚)をそのまま録音する方法

1. CD2 CD・CD2にCD-RW ※何度も削除・追加録音可能なCDディスク
2. CD1 お好みのCDを入れ液晶表示に曲数が出ることを確認。
録音ボタンを押す **REC**
3. CD1 CD1再生/一時停止ボタンを2回連続で押す。(一時停止の状態)
4. CD2 CD2再生/一時停止ボタンを1回押す。(録音開始の状態)
5. 液晶に00:00のTIME表示が出たらCD1再生/一時停止ボタンを1回押す。(録音開始)
<選曲した曲が終わったら>
6. CD2 停止ボタンを1回押す。(停止の状態)
7. CD1 停止ボタンを1回押す。(停止の状態) 【曲間は入りませんのでご注意ください】

上記録音終了後にファイナライズを行わないと本製品CD1または他のプレイヤーで聞くことはできません。(ファイナライズ処理前であれば本機CD2のみで再生できます。)

※完成ボタンを押し⇒CD2再生/一時停止ボタンを1回押す⇒完成(約2~3分)完成すると自動的にトレイが開きます。

ご使用前に必ずお読みください

録音用のCD-R/CD-RWについて

⚠ 注意 録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデータは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができるCDディスクです。

CD-RWをお勧めいたします。

CD-R ディスクはメーカーによっては本機の性能を十分発揮できない場合がありますので、あらかじめテストをお勧めします。
また、録音状態によっては再生できない場合があります。

フィルム透明・保護シートについて

⚠ 注意 正面ディスプレイには出荷時に汚れや傷を防ぐ為に透明保護シートが施されています。剥がしてご使用ください。

ファイナライズについて

⚠ 注意 ファイナライズとはCD-R/CD-RWに記録を行った機器以外のプレイヤーでも再生できるようにするために行われる最終処理のことです。
ファイナライズ処理をしないと本製品で録音した音楽データを他のプレイヤーで聞くことはできません。

※完成ボタンを押し(Fin-d表示)CD2再生/一時停止ボタンを1回押す
--- busy ⇒ 完成(約2~3分) 完成すると自動的にトレイが開きます。

⚠ 注意 ファイナライズ処理をしたCD-RWはファイナライズ処理解除作業をしないと新たに追加録音はできません。
※削除ボタンを押し(unFin-d表示)CD2再生/一時停止ボタンを1回押す
--- busy ⇒ 秒数表示され表示窓左上にNOTOCと表示されれば解除済
解除作業は(約2分程かかります)

※CD-Rはファイナライズ処理後の削除、追加録音は一切できません。
但し、本製品でファイナライズ処理を行う前であれば追加録音のみ可能です。(削除はできません)
【繰返し削除や追加録音が可能なCD-RWをお勧めします。】

ご使用前に必ずお読みください

レコード針について

⚠ 注意 本製品には、約100時間使用可能なレコード針が既に取り付けられています。すぐに交換する必要はありません。

--- busy 液晶表示について

⚠ 注意 busy液晶表示中は他のボタンを絶対に押さないで下さい。
busyは選択機能の読込中です。
busy液晶表示が変わってから選択ボタンを押してください。

音量調節について

⚠ 注意 一度電源を切る(off)または、レコード、カセット、CDプレイヤーに切り替えた場合に音量が一旦下がりますので好みの音量に調節して下さい。
【最大音量は31db・音量つまみは360°回転します】

安全上の注意事項

- 使用後は必ずCDまたはカセットテープを取出して保管下さい。故障、誤作動の原因になる恐れがあります。
- 録音中に本製品の近くに電気製品がある場合はノイズが入る場合があります。
- 記録メディアは精密機器です。乱暴に扱わないで下さい。また、静電気をおびていると、認識されなかったり、本製品が誤作動する場合があります。
- メディアを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、に関わらず当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承下さい。

ご使用前に必ずお読みください

停止時の液晶表示

CD1/AUX CD-RW

トータル曲数 ➡ **13**

トータル 秒数は表示されません

CD 1

CD2 CD-RW

NO TOC

書き込みできるCD-R/CD-RWが入っている場合に表示

トータル 秒数が表示される

000 00:00

CD 2

再生時の液晶表示

CD1/AUX CD-RW

再生曲番 ➡ **02**

秒数は表示されません

CD 1

CD2 CD-RW

NO TOC

書き込みできるCD-R/CD-RWが入っている場合に表示

曲番 再生秒数が表示される

000 00:00

CD 2

一時停止時の液晶表示

CD1/AUX CD-RW

点減 ➡

再生曲番 ➡ **02**

秒数は表示されません

CD 1

CD-RW

NO TOC

書き込みできるCD-R/CD-RWが入っている場合に表示

曲番 秒数が表示される

000 00:00

CD 2

録音時の液晶表示

CD-RW **REC**

NO TOC

R+L IIII

選曲 曲番 ➡ **02**

曲番 秒数が表示される

000 00:00

書き込みできるCD-R/CD-RWが入っている場合に表示

PROG ➡ ①のプログラム操作時に点減表示

ご使用前に必ずお読みください。

誤作動の注意事項

- ① CD-R/CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ・レコード(アナログ音源)からの録音の場合には、CDメディアの特性により録音・再生できない場合があります。
- ② 録音用CD-R(音楽用)またはCD-RW(音楽用・データ用)に関して
＜推奨メーカー＞三菱製またはSONY製をおすすめしています
(CD-RW/データ用の場合、書込み倍速20倍速未満をご使用願います。)
- ③ 操作ボタンはディスプレイ表示を必ず確認した上で押してください。
何度かボタンを押してしまうと誤作動や故障の原因になります。
- ④ **busy**表示に関して
CDトレイの下の切替操作ボタンを押すことによりbusy表示が表示されます。
この表示は現在動作中(読込中)の意味です。表示中は他のボタンを絶対に
押さないでください。必ず表示が消えてから次のボタンを選択してください
- ⑤ A. . . . busy表示が消えない B. 表示が切り替わらない
C. CDトレイが開かない D. 再生・録音ができない
上記の場合は一度電源を切り、コンセントを抜いて1～2分放置後再度電源
を入れてください
- ⑥ ファイナライズ(録音完成)には録音容量が約5分程度必要になります。
下記CD盤記載録音時間より5分とお考えください。
CD-RW(音楽用/データ用) 650MB(約74分) 700MB(約80分)の録音が可能です。
CD-R(音楽用のみ) 650MB(約74分) 700MB(約80分)の録音が可能です。
- ⑦ 本製品で録音したCD-Rディスクは標準のCDプレイヤーで再生することができますが
CD-RWディスクは一部のプレイヤーでは再生できない場合があります。
再生プレイヤーの仕様を確認してください。
CD-RWで何度も同じ場所での録音・消去を行わないでください。
※読取不良の原因になります。
- ⑧ CD2は録音専用です(確認再生用)CDメディアにより曲の頭が途切れる場合があります。
CDの再生または録音後/ファイナライズ(完成処理後)の再生はCD1で行ってください。



注意

DVD-R/DVD-RWは使用できません。
コピーコントロールと記載されたCDはCDディスクによって録音できない場合があります。
コピープロテクト/ガードと記載されたCDは録音できません。

※音楽メディアにおける無断複製を防止するため、著作権者が自ら、その
著作物が複製出来なくなるように処理されています。

お問合せ先 株式会社とうしょう

カスタマサービス: TEL: 048-997-2244

平日 月～金 AM9:00～PM17:00 休日土、日、祭日

< ご使用前に必ず御読みください >

◆◆ 起動時の「busy」表示について ◆◆

電源スイッチをONにして、お好みのプレーヤー（テープ・レコード・CD1・CD2）に選択するとディスプレイに「busy」と表示されます。

※ 各プレーヤー起動時に約15～20秒程表示。
「busy」表示のときに他のボタンを押しますと、誤作動または、起動時間が長くなる場合がありますので、必ず「busy」表示が消えてから、次の操作を行ってください。

尚、再生／録音時にも「busy」は表示されます。動作中／書き込み中という意味ですので、表示が消えてから必ず操作を行うようにしてください。「busy」が消えない場合、または「busy」表示のときに他のボタンを押された場合は、一旦電源をOFFにし、コンセントプラグを抜き、3分～5分放置後再度最初から操作を行ってください。

※ 本体裏側にファンが装備されています。一度に多くの機能操作を行う為、内部に発生した熱を外部に逃がす為にファンの音がします。

■裏面は誤作動の注意事項です。